

世界が広がる!

こどもと地図

2010年度

1月号
(3学期)

ぼくの町の安全調査

ぼくたちが住める安全な場所



ぼくたちが住める安全な場所



ぼくたちが住める安全な場所



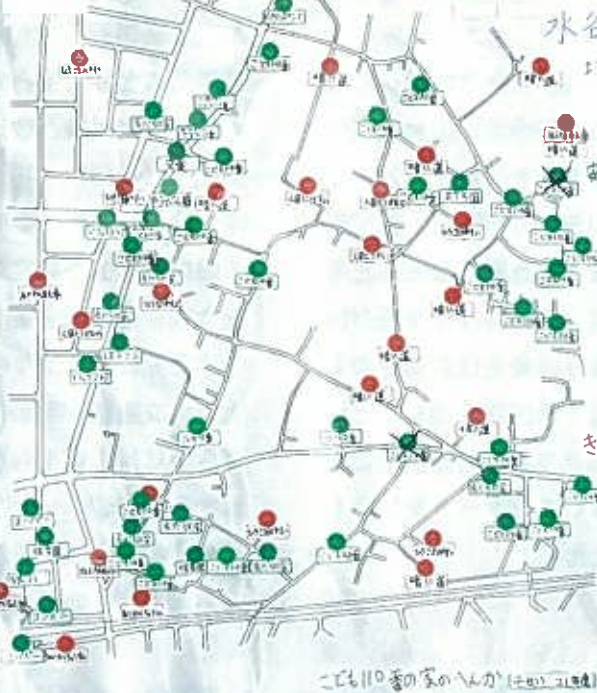
ぼくたちが住める安全な場所



ぼくたちが住める安全な場所



ぼくたちが住める安全な場所



水谷小3年組 小栗弘毅

地図の中のマーク

● 安全な場所
○ 危険な場所
□ 安全な場所
△ 危険な場所

安全な場所調査結果

場所	件数	場所	件数
小学校	1	友だちの家	7
交番	1	ドラッグストア	2
公民館	1	銀行	1
ゆうびん局	1	レストラン	1
こども達の家の家	2	ガソリンスタンド	1
コンビニ	2	保育園	2
スーパー	2	ぶどう園	1

こども達の家の数のへんか

1年組18名、2年組12名、3年組10名、4年組8名、5年組6名、6年組4名、7年組2名、8年組1名、9年組1名、10年組1名、11年組1名、12年組1名、13年組1名、14年組1名、15年組1名、16年組1名、17年組1名、18年組1名、19年組1名、20年組1名、21年組1名、22年組1名、23年組1名、24年組1名、25年組1名、26年組1名、27年組1名、28年組1名、29年組1名、30年組1名、31年組1名、32年組1名、33年組1名、34年組1名、35年組1名、36年組1名、37年組1名、38年組1名、39年組1名、40年組1名、41年組1名、42年組1名、43年組1名、44年組1名、45年組1名、46年組1名、47年組1名、48年組1名、49年組1名、50年組1名、51年組1名、52年組1名、53年組1名、54年組1名、55年組1名、56年組1名、57年組1名、58年組1名、59年組1名、60年組1名、61年組1名、62年組1名、63年組1名、64年組1名、65年組1名、66年組1名、67年組1名、68年組1名、69年組1名、70年組1名、71年組1名、72年組1名、73年組1名、74年組1名、75年組1名、76年組1名、77年組1名、78年組1名、79年組1名、80年組1名、81年組1名、82年組1名、83年組1名、84年組1名、85年組1名、86年組1名、87年組1名、88年組1名、89年組1名、90年組1名、91年組1名、92年組1名、93年組1名、94年組1名、95年組1名、96年組1名、97年組1名、98年組1名、99年組1名、100年組1名

危険な場所調査結果

場所	件数	場所	件数
公園	5	ほろほろ公園	3
人目につかない道	4	おひろ公園	3
暗い道	10	おひろ公園	1

わが町はこどもが住める安全な場所が多い

危険な場所が少ない

安全な場所は真ん中に集まっています

かえり

調べた町のいろいろなところを探る町の安全な場所を探る町をさがす

こども10家の家のへんか (合計 10家)

もくじ

もくじ・こどもの手づくり地図 表紙

《解決! 新学習指導要領が求める地図活用》

地図帳が誘う豊かな言語活動 寺本 潔 1

広がる! 地図活用

学級活動の中での地図活用 岩本廣美 5

地図帳活用相談室〈9〉 次山信男 7

《わたしの地図活用》

4年 京都府魅力ピックアップマップづくり 忠谷嘉人 9

5年 わたしたちの生活と工業 前沢幸雄 11

6年 地図帳から探る外国との結びつき 赤瀬 浩 13

《ニュースを地図帳で解説》

今、日本で、世界で、起こっていること 有田和正 15

小学校で広がる地図活用 帝国書院広報室 17

日本と世界の動き 19

地図編集室だより

編集の新しい試みと国土理解 帝国書院編集室 21

別冊 写真資料 解説 22

表紙 こどもの手づくり地図の紹介

「ぼくの町の安全調査」 荻野一会 裏表紙

別冊付録・ワークシート

47都道府県を覚えようワークシート 栗原由紀子

①日本全国いただきます! 都道府県弁当をつくろう

②ようこそ△△観光客へ! ○○県が好きな旅のご案内

学級活動で地図活用 3年 神奈川県小学校教諭

絵地図づくりを取り入れた学習 -1年かけてつくる絵地図-

別冊付録・写真資料

銀座のビルの屋上に田んぼ? 私たちの国土

帝国書院

別冊 写真資料 解説

銀座のビルの屋上に田んぼ？

酒米づくりで屋上緑化の取りくみ

白鶴酒造(株)東京支社次長 小田朝水

白鶴酒造の本社は兵庫県神戸市で、銀座に東京支社がある。日本酒文化が衰退している現状で、銀座から発信ができないかというのが発端で、清酒の主原料である米づくりを屋上で行う話が進んだ。2007年の6月にプランターでの栽培をはじめ、2008年の2月に、試験醸造の免許も取得した。2008年から本格的な田(70㎡の田とプランター200個)にする際、屋上緑化用の土を通じて、銀座グリーンプロジェクト(テレビ番組がきっかけの屋上緑化プロジェクト)を知った。保水性があり重量が田んぼの土の1/3くらいのを、プロジェクトを通して購入しそこへ田んぼの設計・施工もお願いした。中央区の屋上緑化助成金の手続きもした。

農業は初めてで試行錯誤だったが、まず土壌づくりから始めた。苗は白鶴錦(白鶴の清酒専用米)を契約農家からもらった。ネオン街で米づくりは無理との専門家の声に対し、チャレンジ精神でや

った。台風などで苦労は続いたが、予定通り9月に穂が出て、ちゃんと実もなった。米は刈り取りの2週間後には脱穀、もみにして本社に送り、精米したものを銀座で仕込みを始める。

当初の目的に加え、環境問題についても銀座から発信できると考えた。様々な研究所と連携し、屋上緑化の温度低下効果も調べた。屋上のコンクリートが60℃のとき、田んぼは約27℃まで落ちる。ヒートアイランドの抑止にもなっていると思う。

米づくりの輪をもっと地元を広げるため、近くの小学校の子どもたちに田植えや稲刈りを体験してもらっている。半年かけてつくった米を口にして、食の尊さを大事にする心を養ってほしいと思い、コシヒカリもつくることにした。米はちらし寿司に姿を変え、試食会で私たちもいただいた。

年間を通じた屋上緑化で、これから野菜・小麦づくりとなる。銀座社交料飲協会の方々も、銀座でとれた食材をお店で出すことを考えているようだ。銀座の街を里山にしたい。屋上緑化で銀座の屋上を緑のじゅうたんにしたいと思っている。

私たちの国土～地形・気候・農業を比較する

富山大学准教授 大西宏治

日本を概観するとき、地形や気候、農業を主題とした地図を比較しながら授業できれば、自然環境と農業の関連性を見習うことは深く理解することができる。新しい地図帳では、日本を概観する地形や気候、農業、工業が900万分の1の同一縮尺で描かれており、相互の関係性を検討するには好都合である。

地形と気候を比較する授業であれば、標高の高さと気温の関係を説明することができる。日本の地形の地図をみると、日本の中央部にある日本アルプスは標高の高い地域となる。次に2月の気温の地図を見ると、北が寒く、南に行けば暖かくなることがわかる。しかし、標高の高い地域は例外で、日本アルプス付近は同緯度の地域に比べて気温が低く、標高と気温が関係していることを理解できる。西日本の山地でも同様である。このようにして、地形と気候の地図を比較する作業により、標高の高い地域は気温が低いことについて理解を

深めることができる。

さらに、農業についても気温や標高が関係していることを説明できる。例えば、田と地形を比べると、田が平野部に広がるのがわかる。また、米は温暖な気候を好む作物であったが、品種改良により、寒いところでも栽培できるようになった。しかし、現在でも北海道の東部などには平野部でも米ではなく畑の栽培を選択する地域が広がっており、気温と比較すると、特に寒い地域では栽培されていないことが理解される。他にも、りんごを見ると緯度が違っても標高により長野と青森など、2月の気温が似ている地域で栽培されていることがわかる。逆にみかんは温暖な地域で栽培されていることも理解される。

異なる主題の地図を比較する学習活動を通じて、農業や工業などに地形と気温など自然環境が影響することを考える学習活動ができる。ぜひとも異なる主題の地図の比較を実践していただきたい。ただし、これらの現象は自然環境だけで決まるものではないことも説明する必要がある。